

平成 28 年 9 月 1 日
総 務 省

「先進的な無線システムに関するワーキンググループ」の設置について

1. 設置の目的

近年、中間周波数帯を用いるワイヤレス電力伝送（WPT）、超高周波帯を用いる超高速無線 LAN や第 5 世代移動通信サービス（5G）等のこれまでにない新たな電波利用システムの実用化・普及に向けた取組が国内外で急速に進展している。

一方で、これらの周波数帯や新たな利用形態については生体等への影響に関する科学的な知見の蓄積が十分には進んでいないため、電波防護指針や適合性評価方法に関して、詳細な検証を行うとともに、最新の科学的知見の反映が急務となっており、生体電磁環境に関する検討会の下に先進的な無線システムに関するワーキンググループを設置し、情報通信審議会電波利用環境委員会における検討を開始するにあたり必要となる基礎的な検討を行うこととする。

2. 検討項目

- （1）先進的な無線システムに関する国内外の研究結果や標準化動向等の評価・分析
- （2）最新の科学的知見を踏まえた電波防護指針の妥当性や適合性評価方法に関する検証
- （3）その他関連する事項

3. 検討体制

構成員は別紙のとおり。ワーキンググループには主査を置き、主査は生体電磁環境に関する検討会の座長が指名する。

4. 検討スケジュール

平成 28 年夏より検討を開始し、平成 29 年度末を目処に防護指針や適合性評価方法に関する一定の結論を得る。

5. 事務

事務は、総務省総合通信基盤局電波部電波環境課が行う。

6. その他

ワーキンググループの運営に関し必要な事項は、主査が定める。

以 上

生体電磁環境に関する検討会
先進的な無線システムに関するワーキンググループ
構成員

構成員名	所 属
牛山 明	厚生労働省国立保健医療科学院生活環境研究部上席主任研究官
佐々木 謙介	国立研究開発法人情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁環境研究室 研究員
小島 正美	金沢医科大学総合医学研究所プロジェクト研究センター環境原性視覚病態部門・教授
小島原 典子	東京女子医科大学衛生学公衆衛生学第二 准教授
小山 眞	京都大学生存圏研究所・特任講師
寺尾 安生	杏林大学 医学部 生理系専攻 教授
日景 隆	北海道大学大学院情報科学研究科・助教
平田 晃正 (主査)	名古屋工業大学 大学院電気・機械工学専攻 教授
八重柏 典子	国立研究開発法人理化学研究所 光量子工学研究領域テラヘルツ光研究グループ 協力研究員
和氣 加奈子	国立研究開発法人情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁環境研究室 主任研究員

オブザーバー

渡邊 聡一	国立研究開発法人情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁環境研究室 研究マネージャー
-------	--